

定期監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査対象

教育委員会 子育て支援課

2 対象期間

令和4年度（令和4年4月1日～令和4年11月30日）

3 監査の実施期間

令和4年12月1日(木)～令和5年2月27日(月) ※1月25日(水)ヒアリングを実施

4 監査の目的及び方法

この監査は、財務に関する事務の執行が法令等に基づいて適正かつ効率的に行われているかを主眼として、監査対象課より事前に監査資料の提出を求め、諸帳簿、証憑書類等を審査し、関係職員から説明を聴取して監査を実施した。なお、行政監査の視点に立った監査も併せて行った。

5 監査の着眼点

- (1) 財務に関する事務の執行（予算執行・収支・契約・出納保管・財産管理等）について
- (2) 市民サービスの向上と事務事業の取組みについて
- (3) 各課の事務内容と職務分担及び職員の勤務状況について

第2 監査対象の概要

（職員数は令和4年11月末現在）

- 1 子育て支援課 【全体 職員 180名（うち管理職 18名）、会計年度任用職員 461名、派遣職員 2名】

総務企画係 【職員 6名、会計年度任用職員 3名】

子ども・子育て会議の運営、保育園・幼稚園適正配置、子ども・子育て支援事業計画、すこやか赤ちゃん誕生祝い金、会計年度任用職員（児童館・児童クラブ・なかまの会）の任用及び育成、児童館・児童クラブ・なかまの会の運営及び施設整備、保育園・認定こども園・幼稚園の給食及び保健衛生、子育てコンシェルジュ、つばめ子育て応援カード事業、ファミリーサポートセンター、子どもの居場所の運営（B&G財団）、放課後児童健全育成補助金、全天候型子ども遊戯施設、地域子育て支援講座、育児家庭応援事業（おむつ用ごみ袋支給）等に関すること

保育・幼児教育係 【職員 7名、会計年度任用職員 1名】

保育園・認定こども園・幼稚園業務（施設整備・入園調整・健康診断・尿検査・希望保育・早朝延長保育・一時保育・保育料・給食費等）、子ども・子育て支援事業費補助金、保育対策総合支援事業補助金、病児・病後

児保育、特定教育・保育施設の確認、社会福祉法人の監査、子育て安心プラン実施計画、児童福祉施設整備資金貸付金、私立保育園・私立認定こども園の運営費、広域入所、管外保育、保育士処遇改善・加算認定、学校環境衛生検査、特別保育事業費補助金、障がい児保育事業補助金、園児バス、日本スポーツ振興センター災害給付、子育て支援センター、特定教育・保育施設の定員の確認、保育の必要性の認定、子育てのための施設等利用給付事業、福服・缶カンBOOK 事業に関すること

子どもサポート係 【職員 2 名、会計年度任用職員（特任指導主事） 2 名】

妊娠からの子育て相談コーナー、発達支援コーディネーター育成事業、地域生活支援事業補助金（巡回支援専門員整備）、療育にかかる調査報告、妊産婦・乳幼児の健康相談及び保健指導、支援台帳・支援プラン、子育て世代包括支援センターネットワーク会議、特定妊婦連絡会・未熟児ネットワーク会議、児童・生徒の相談、学校訪問、園の個別の支援計画、個別の指導計画、児童館・児童クラブ・なかまの会の療育支援、支援者研修会、園児の相談、保育園等の定例及び要請訪問、園内のケース検討会、保護者支援講座に関すること

幼稚園 【職員 4 名（うち管理職 1 名、海外派遣休職中 1 名）、会計年度任用職員 3 名】

名 称	正職員(人)	会計年度任用職員(人)
燕東幼稚園	4	3

※園長は小学校校長（新潟県教員）のため除く

保育園 【職員 135 名（うち管理職 11 名、産休／育休中 16 名）、会計年度任用職員 257 名（うち産休／育休中 7 名）、派遣職員 2 名】

名 称	正職員 (人)	会計年度任 用職員(人)	派遣職員 (人)	名 称	正職員 (人)	会計年度任 用職員(人)	派遣職員 (人)
藤の曲保育園	8	13(1)	0	三方崎保育園	6	8	0
つぼみ保育園	11(4)	26	1	よしだ保育園	17(1)	44(1)	0
小池保育園	9(1)	16	0	吉田日之出保育園	5	8	0
小高保育園	7	12(1)	0	粟生津保育園	11(2)	15(1)	0
西燕保育園	13(1)	27	0	吉田北保育園	10(1)	21(1)	1
大曲八王寺保育園	10(1)	22(1)	0	島上保育園	8(1)	10(1)	0
水道町保育園	11(3)	17	0	あおい保育園	9(1)	18	0

※（ ）内は、産休又は育休中の人数（内書き）。

認定こども園 【職員 22 名（うち管理職 2 名、産休／育休中 3 名）、会計年度任用職員 42 名】

名 称	正職員 (人)	会計年度 任用職員 (人)	名 称	正職員 (人)	会計年度 任用職員 (人)
燕こども園	14(2)	24	燕南こども園	8(1)	18

※（ ）内は、産休又は育休中の人数（内書き）。

ファミリー・サポート・センター 【会計年度任用職員 1 名】

子育ての手伝いをしたい人（提供会員）と手助けをしてほしい人（依頼会員）からなる会員組織で、保育園、小学校、児童クラブ等の保育施設等への送迎や保護者の急用時等での児童預かりなど、子育ての相互援助活動を行う（燕市子育て総合支援センターすくすく内に設置）

子育て支援センター 【会計年度任用職員 17 名】

地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、育児不安に対する相談、子育てサークルへの支援、地域の保育に関する情報提供等を行う

名 称	会計年度任用職員 (人)	名 称	会計年度任用職員 (人)
西燕保育園 子育て支援センター	2	分水児童館 子育て支援センター	1
燕南こども園 子育て支援センター	2	燕市子育て総合支援 センター「すくすく」※2	7
燕市児童研修館 子育て支援センター	0※1	燕こども園 子育て支援センター	2
よしだ保育園 子育て支援センター	3		

※1 燕市児童研修館職員が兼務

※2 燕市民交流センター内に設置

児童館・児童クラブ・なかまの会 【会計年度任用職員 135 名】

- ・児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにする（児童館・児童センター）
- ・就労等で保護者が昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、保護者に代わり放課後等に適切な遊び及び生活の場を与える（児童クラブ）
- ・放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点となる場所を確保し、遊びと交流の場を提供する（なかまの会）

名 称	会計年度任用職員 (人)	名 称	会計年度任用職員 (人)
燕市児童研修館	4	つばめみなみ児童クラブ	6
燕市吉田児童センター	5	児童クラブフレンド第一	6
燕市東児童センター	2	児童クラブフレンド第二	6
燕市西燕児童館	2	児童クラブメート	7

燕市杉名児童館	3	b & G 燕吉田南メート	7
燕市小中川児童館	4	児童クラブレインボー	7
燕市分水児童館	2	児童クラブスマイル	4
小中川第一児童クラブ	4	分水児童クラブ	5
小中川第二児童クラブ	6	わか竹第一児童クラブ	5
東児童クラブ	4	わか竹第二児童クラブ	4
西小第一児童クラブ	7	北のなかまの会	5
西小第二児童クラブ	8	大関のなかまの会	4
杉名第一児童クラブ	3	松長のなかまの会	3
杉名第二児童クラブ	5	島上のなかまの会	3
西燕児童クラブ	4		

第3 監査の結果

1 子育て支援課

(1) 調書・聞き取りによる確認事項

ア 令和2年4月に開設された「b & g 燕吉田南メート」は、経済状況や家庭環境に課題を抱える児童が、安心して過ごせる環境を提供することを目的とし、児童クラブに準じた形で運営を行っている。基本的な生活習慣を身につけさせ、自己肯定感や人及び社会と関わる力等の能力を高めることなど、発達段階に応じた学習支援等を実施している。

B&G 財団からの助成の終了に伴い、令和5年度から延長利用時間を21時から19時までに短縮し、食事の提供をなくすほか、課外活動の保護者負担を求める等公立の児童クラブと同じ運用になる。

イ 全天候型子ども遊戯施設整備事業における設計事業者の選定にあたっては、それぞれの年代にあった遊具や施設の使い方や、いろいろな遊びができる仕掛け、遊具の工夫だけでなく気持ちを落ち着けるためのクールダウンスペースの設置、さらには視覚や聴覚等でも楽しめる音色ウォール等の提案が評価された。

令和6年度のオープンに向けて、令和5年度は、排水路整備工事、建物建設工事、指定管理者募集に向けた準備が進められる。

ウ 発達支援コーディネーターは、特別な配慮を要する子どもに沿った適切な支援のために、園内の調整や関係機関との連絡窓口、担任とともに保護者の相談に対応する役割を担っており、令和4年度に公立17園全てに配置した。私立園に対しても、市の研修会や巡回訪問を積極的に周知し、各園の実情に合わせて利用していただいている。

エ 庁舎職員に時間外勤務の多い職員が見受けられる。子育て支援に対するニーズの高まりによるきめ細かいサービスや丁寧な対応、また、保育園や児童クラブ等に在籍している園児、児童、職員の新型コロナウイルス感染症の対応、休園の対策等の対応が求められたことが要因である。

オ 保育実施負担金（保育料）の収入未済額は、令和 4 年 11 月末現在で公立が 14,804,704 円、私立が 4,770,390 円となっている。口座振替不能通知や督促状の発行、郵送及び電話による催告等により納付を促している。数年間に渡り滞納を積み重ねている者については、収納課と連携しながら回収に努めている。

カ 保育士等派遣業務委託について、育児休業中の保育士の代替を確保するため、燕市との契約実績があり、条件にあった保育士の派遣が可能な県外の事業者と随意契約を結んでいる。

キ 厚生労働省からの「保育所等における虐待等に関する対応について」の通知を受け、市では、公立園長会で園長に対して、園の様子を把握し、職員一人一人が発生防止に努めるよう指導した。

(2)意見

b & g 燕吉田南メートについては、運営方法が令和 5 年度に変更することとなるが、これまで実施してきた学習支援等を活かし、子どもが安心して過ごせる環境の確保など、今後も支援が必要な子どもに寄りそう対策に取り組まれない。

全天候型子ども遊戯施設の建設を予定しているエリアには、児童研修館こどもの森や交通公園なども立地していることから、それぞれの施設機能の相乗効果によって、さらなるにぎわいづくりが期待される。引き続き、施設整備の進捗状況をはじめ、施設の利用方法など、市民への丁寧な情報発信をお願いしたい。

今年度にすべての公立幼稚園・保育園・こども園に発達支援コーディネーターを配置したことは評価される。今後は、研修などを通してコーディネーター以外の職員に向けても必要な知識や技術の習得に努めるとのことである。子どもの発達の課題については、早期発見や保護者へのかかわり方など、非常に専門性が高く難しい対応が必要となるため、引き続き相談体制の充実など支援体制の整備を図られたい。

時間外勤務で月 45 時間を超える職員が多く見受けられた。新型コロナウイルス感染症に伴う保育園の休園等の対応などにより業務量が多くなったとのことである。今年度は、年度途中で保育・幼児教育係の職員を総務企画係に配置替えさせたほか、学校教育課職員による土・日曜日の業務応援など、職員の負担軽減を図っている。引き続き、職員の健康保持に十分に配慮し、適宜担当業務の見直しを行うなど、事務の平準化を図るよう努められたい。

保育実施負担金（保育料）の滞納対策については、児童手当からの引き落としなどさまざまな方法で取り組まれている。滞納額は、保育料の一部無償化に伴い減少しつつあるものの、滞納が長期化している事例もある。今後も負担の公平性を踏まえ、収納課と連携し、効果的な対策を講じられたい。

全国的な問題となっている「保育所等の不適切保育」については、調査の結果、現在燕市では事例がないとのことである。今後も問題となるような事例を発生させない環境づくりに努められたい。